

都道府県立図書館サミット 2022 開催要項

日程：令和4年11月27日（日）～11月28日（月）

会場：鳥取県立図書館 2階 大研修室（一部オンライン配信あり）

主催：都道府県立図書館サミット運営委員会、図書館総合展運営委員会、鳥取県立図書館

■ 11月27日（日）テーマ：「都道府県立図書館と基礎自治体」

プログラム

(1) チェックイン・アンカンファレンス（参加自由）（10:00-10:50）

ファシリテーター：小澤 多美子（長野県教育委員会）

(2) 開会行事（11:00～11:10）

- ・都道府県立図書館サミット 2022 実行委員長 挨拶
- ・図書館総合展運営委員長 挨拶
- ・鳥取県立図書館長（共同実行委員長） 挨拶

(3) 47 都道府県「自慢」リレートーク（11:10-12:30）

進行：市村 晃一郎（群馬県立図書館）

(4) セッション#1 基調講演（13:30～14:30）

テーマ：「都道府県立図書館論のこれまでとこれから」

講師：田村 俊作（石川県立図書館長）

(5) セッション#2 クロストーク（14:30-15:15）

話者：田村 俊作氏（前出）、小林 隆志（鳥取県立図書館長）

進行：丸山 直也（山梨県立図書館）

(6) セッション#3 都道府県立図書館の役割（15:30-17:30）

- ・全体進行：吉本 龍司氏（株式会社 カーリル 代表取締役）

【話題提供】

1 「問題提起：デジタル社会における図書館のポジショニング・サービスモデル」

話者：吉本 龍司氏（前出）

2 「県立図書館は地域情報資源のプラットフォームになれるか - 信州をケーススタディとして」

話者：森 いづみ氏（県立長野図書館 館長）

3 「図書館の県域サービスを考える - ネットワークを軸とした鳥取県の取組」

話者：岩崎 武史（鳥取県立図書館職員）

【フロアトーク】

「都道府県立ミニマム&連携とオリジナリティと図書館リ・デザイン」

ファシリテーター：吉本 龍司氏（前出）